

各地で未曾有の豪雨や、経験がないような猛暑日を記録しています。非常時の備えと、日々の暑さ対策を心がけてお過ごしください。

ごけい たより
互恵便り 第29号

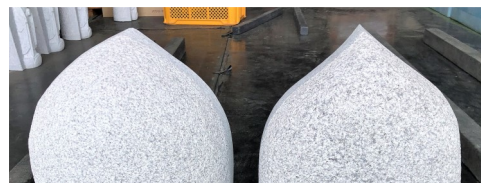
創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社

〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



「ミッキーマウスツリー」 当社配送センター
写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

盛夏！暑中お見舞い申し上げます



表現されている「線」も石工の技術の差を表しています。

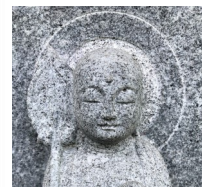
中谷石材従業員一同

納品を待つ、二つ並んだお地藏さんの写真です。一つは輸入品で、もう一つは庵治での石工の手によるものです。似ているようですが、こうして並べてみるとその技術の違いがわかります。

私たちは、この高度な石工たちの技術を、大丁場から採掘される銘石・庵治石と共に守っていきたいと願い、日々努力を重ねていきます。

その硬さゆえに庵治石の加工や細工には高度な技術が求められる。墓石、仏像、燈籠、工芸品…石工たちは、すべての作業において十分な時間をかけ、一切の妥協をせず、原石に秘められた力を最大限に引き出しながら個性ある作品を生み出していく。

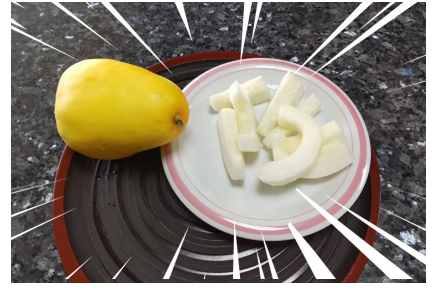
「STONE 庵治石と生きる匠たち」吉村和敏写真集より



庵治町・牟礼町が誇りにする高度な石工たちの技術を

1、ようやく以前のように、各地で本格的な夏祭りが復活しています。この夏は、暑さも楽しさに変えてう〜んと楽しみたいですね。

社長の好きな “まっかうり”でおやつタイム



ここ数年、年を追うごとに暑さが厳しい夏！今年の夏も体力を維持して熱中症に気を付けながら乗り切りたいですね。ということで7月中旬のある日、本社では、こんなおやつタイムがありました。ご紹介するための写真撮影でしたが、女子に囲まれた社長をはじめ…みんな、ちょっと緊張しすぎですよ～(笑)

お陰様です。

暑中お見舞い申し上げます。

今年の夏も暑い毎日ですね。今はスーパードに行くときスイカやメロンばかりでなく、初めて見る、名前もよく分からない南国の果物が並んでいます。そしてどれも、とても甘いんです。

私は、“まっかうり”こと“マクワウリ”が好きなんです。若い方は知らないかもしれませんが、私の子どものころは、夏の贅沢でした。ほんのり甘い淡泊な味なので今の甘い果物に慣れた人には、きつと物足りないでしょうね。

このマクワウリをわが家の畑に植えてもって育てているのですが、この夏は見事に実がなりました。豊作です。そこで、マクワウリを収穫して、事務所のみんなで休憩時間に食べました。

こんなご報告をしているとのんびりしているように思われるかもしれませんが、会社は大変革期を迎えていて、本社事務所も忙しくしています。

こういうときこそ、仲間とのちょっとした会話が大切なのではないかと思っている今日この頃です。

社長 中谷明生



カメラを向けられてすっかり緊張してしまいましたね～



畑に収穫に向いたのは、最年少?の若杉さんです。



「追加字彫り」と「色直し」を承りました

墓石は、建ててお終いではありません。私たちは墓守として次世代まで永いお付き合いをさせて頂けるよう、信頼できる石材店であり続けたいとの思いで仕事をさせていただいております。この度は、追加字彫りに加えて彫刻された文字の色直しのご依頼を承りました。仕上がりもお客様から大変喜んでいただきました。誇りと感謝の気持ちを込めて彫刻させていただきます。



字彫課一同

当社が管理している久米山墓地公園の利用者様から、墓石の追加字彫りと色入れ直しのご依頼を頂きました。今回は「現場彫刻」ではなく、工場に持ち帰りさせて頂いての作業でした。当社字彫課の『Wあきら』こと？畠山晃と上原章、この二人の職人の手によってお客様のご要望にお応えさせていただきました。

お客様のご要望で白く色入れした墓石は、爽やかな印象に仕上がりました。ご依頼、ありがとうございます。

剪定作業にお伺いしたお客様からのご依頼にお応えさせていただきました。



中谷石材(株)「わたしの仕事」

「26年間、研磨を続けています」 宮宇地 啓

みやうち けい

はじめまして。中谷石材庵治工場の宮宇地啓です。私は、石材の研磨を担当しています。昭和46年(1971)生まれで、小中学校は高松市内の学校に通い、今年で52才になります。

私の仕事は石の研磨です。山から採掘した石を「荒石」と言います。それを切削して四角い石にするのですが、その段階ではまだ「びつ」が残っています。それを、すべての面が直角となるように磨いていくのが「研磨」という仕事です。

私がこの仕事を始めたのは26才のときで、今年で26年になります。ずっと庵治工場で働いて来ました。研磨には手動研磨と自動研磨とがありますが、私が最初に担当したのは手動の研磨でした。当時の社長さんや先輩に教えてもらいながらやり始めたのですが、正直言って、この仕事オレにできるような人かな、と思いました。それくらい、とても難しい仕事に感じました。

オレに、「この難しい仕事ができるようになるんかな」

研磨というのは、まず平面を出すんです。そしてそこに艶を出していくのですが、艶を出すためにもまずは平面を出さなければなりません。ところが、このただ単純に平らな面を作るといのが、私には美にむずかしく思えました。

習い始めた当時の先輩に、Kさんという方がいらつしやいました。自分では平らな面になったと思って、出来ましたとKさんに報告します。

するとKさんはダメだと言つて、「ここをこつするんじやと教えてくれるのですが、その意味がまったく分からないんです。どこが平らでないのかが分からない。必死であつちを削りこつちを削りしているうちに、寸法が足りなくなつたということもありました。怒られて胃が痛くなり、何度も辞めようと思ったことがありました。

10年は、やれ。10年やればものになるかどうかわかる

そのとき妻が、自分で決めたことなんだから最後までやりなさいと言つたんです。当時の社長にも、「10年はやれ。10年やれば使い物になるかどうか分かる。」と言われて、辞めるのを思い留まりました。多分、2年くらいは製品になつていなかったと思います。先輩が直してくれたと思いますね。

5年経つたころ、少しは出来るようになったかと思つていました。艶のノリが分かるようになり、季節によって調整する水の量や圧力の加減が、次第に自分のものになっていました。そして、あるとき気がついたら、仕事への気持ちが変わつていて工場の全体が見え出していました。仕事を始めてから10年目のことでした。

「この研磨の仕事は知らない人から見ると、変化の乏しい退屈な作業をしているように見えるかも知れませんが。でも実際は、まったく退屈しないんです。飽きるということがありません。石の変化を見ながら次の工程を予測しているわけですが、時間が経つのは毎日あつという間です。だから1日が早いんですよ。

仕事が終わつてからの楽しみはというと、子どもと話すことでしょうか。3人いるのですが、結婚や進学で上の2人は家を離れ、今は一番下の男の子がいるだけになりました。少し寂しいですね。

幸運にも、前社長が長い目で辛抱強く育ててくれました

私が幸運だったのは、前社長が長い目で辛抱強く育ててくれたことです。10年は見習いや、と言われたのをよく憶えています。

もうひとつ前社長の言葉で忘れられないのが、うちの会社はみんな喋らんから最初は戸惑つかも知れない、と言われたことです。ホントにそうでした。だから最初は恐かったですよ。今では、みんな話すのが得意でないだけということが分かっていきますから、全然気になりません。気心の知れた仲間とともに切磋琢磨して、これからも良い製品づくりに励んでいきたいと思つています。

庵治工場研磨 宮宇地 啓



たくさんのご予約、ありがとうございます！ 猛暑に負けないで頑張っています！



さて、暑さはまだこれからが本番です。写真のように、熱中症対策はしっかりと！水分の補給と休憩時間をしっかりと確保しながら、メンバー一同で頑張ります！

そんな中、電気虫こと「イラガ」の殺虫依頼もあります。庭の木の枝の葉が透ける被害があつたら要注意、イラガのせいかもしれません。柿の木その他に桜の木の依頼もあります。このイラガのトゲに触れると、強い刺激がありピリピリと、しかも赤く腫れて、とにかくめっちゃくちゃ痛いのが辛いです。ご用心下さいね。

暑い暑い！
暑中お見舞い申し上げます。
この夏季の事は、やはり草刈りと草むしりが多いです。炎天下で、毎日が伸びる草との戦いの日々です。



お盆のお墓参りの日が近づいています。どうか、気持ちよくお参りできますように。



6月末頃の「久米山霊園墓地公園」での作業写真です。広い敷地内なので、佐々木班、今田班、林班共同で整備しました。どんどんきれいになっていきます。



「環境整備」を大切にしています！

「時を守り、場を清め、礼を正す」。これは昭和の教育哲学者、森信三先生の提唱された「再建の三大原理」です。時を守り＝時間を守る、約束を守る、先約優先。場を清め＝整理、整頓、清掃。礼を正す＝挨拶をする、返事をする、身だしなみを整える。私たちは環境整備の実行を通じて、このいわば、「当たり前のこと」を学びなおしています。



草むしりリーダー 牟礼英則

社員はもちろん、アルバイトの方々と一緒に日々の環境整備を大切に取組むことを通じて、安心安全な環境作りだけでなく、チームワークも向上してきました。この夏も、暑さに負けずに頑張ります！

私たちはきれいな車両と倉庫、道具を維持し、環境整備の取り組みを続けることを通じて、安全で事故のないキレイな現場仕事に努めています。また、利用して下さるお客様から圧倒的な信頼を得られるような草むしり事業部を目指し、元氣な挨拶を大切にしながら笑顔で頑張っています。

7月1日。この日は、『そうじの力』の小早祥一郎さんの指導のもとでの環境整備強化でした。悪天候のため、予定していた車両の清掃をやめ、収納棚のラベル表示と道具の手入れを中心に取り組みました。

草むしり事業部 「一斉環境整備」



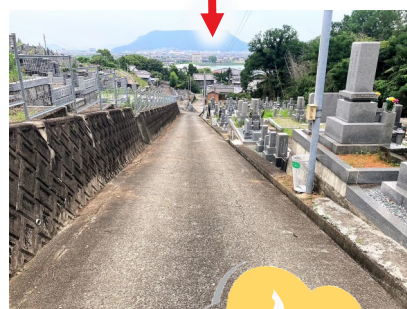
「草むしり日記」 No.53

ありがとうございます！お盆を前にして、お墓の草取りや清掃を始めお庭の草刈りや庭木の剪定など、この夏もたくさんのご利用をいただいております。草むしりメンバーは、その日に必要な大量の水を入れた自前のクーラーボックスを持参して、熱中症でダウンしないように注意をしながら連日頑張っています！

「久米山墓地公園」も どんどんきれいになっています！

久米山墓地公園の環境整備は、草むしり事業部が主体となつて進めています。
この日は、道路脇の雑草を取り、生い茂っていた木の枝を落としてスッキリときれいにしました。草も樹木も暑さと共にぐんぐん伸びますが、広い墓地公園の中を一生懸命きれいにしています。
お盆にお墓参りされる方々が、どうか、気持ち良くお参りできますように。

大須賀輝



一緒に取り組む仲間募集中です！



「体の続く限り、やってみようかな」

河野 嘉之さん (58才)

落としたかたつた体重は、さすがにきつかった3ヶ月間で5キロを落としてストップ。やっぱり剪定の仕事は楽しい！と、今は体の続く限りこの仕事を続けたいと思っています。
河野さん、お客様宅のたくさんのお木があなたに剪定されるのを待っています。よろしくお願ひします！

今年の1月24日から佐々木チームに加わった河野嘉之さんは、草むしり事業部に入社して今月で半年になります。
定時制高校で4年間、造園を学び、卒業後は京都や壇ノ浦などで造園の仕事をしました。その後の30年はドライバーなどの異業種の仕事をして来たそうです。でも、その間も一年に15本ほどの松の木を剪定を、ボランティアで続けて来たそうです。
「コロナ禍で落ちてしまった体を鍛えよう！職安の求人を見て、草むしり事業部へ応募。これまでのような人と接する仕事から、これからは自然を相手にする仕事を！」と剪定が好きで技術のある河野さんが仲間に加わりました。



「松を剪定させれば右に出るものはないが左にはウジャウジャおる」と訳の分からんことを豪語する河野さん。得意どころかほとんど変態の域に達すると、今や草むしりのメンバー間ではキモがられ、いや一目置かれる存在です。

秋に向けてのご予約はお早めどうぞ！



お庭の困り事のご相談は...

草むしり.com 高松

フリーダイヤル

0120-148-144

今月の社長の「コラム」

会社理念を作った時のこと①

お陰様です。
今回は会社の理念について書いてみようと思います。まずは中谷石材の理念をご紹介します。

- 一、社会に役立つ自立した人材を育てます。
- 一、自立連帯の企業運営を進めます。
- 一、社会の互恵関係の発展に努めます。

この三つが、私たちの会社の理念です。庵治石やお墓のことが何も書かれていないことに、お気づきかと思えます。そうです。石のことが一つも書かれていないのです。

もちろん、事業内容の紹介には、「お墓づくり」「お墓のメンテナンス」「永代供養」「お庭のメンテナンス」を手がけていますと紹介されていて、庵治石による墓石とその建立を事業の中核とした会社であり、短くない歴史を持つていることがお分かりいただけるでしょう。しかし会社の理念の中には「お墓」のことが書かれていません。



私が企業理念の制定に取りかかったのは2002年で、完成したのが2004年。20年近く前のことです。その頃の会社はどうだったかと言いますと、

現在とは比較にならないほどの忙しさでした。売上も好調で、ピークを過ぎたとは言え業界全体がまだまだ元気でした。そのような中で、私はこの理念をまとめました。

需要の拡大が望めないことは、全ての業界人が理解していました。これから来るであろう厳しい経営環境の時代に向けて、社長として何をしたら良いのだろうと、必死で考えました。そして見出した答えが、まずは会社の理念を作る必要があるということでした。

法人化して40年(石の仕事は明治時代からしていました)が過ぎていました。就業時の心得や社訓のようなものはあったのですが、理念というものはありませんでした。率直に言っています、仕事はいくらでもあり働く人もいて、事業は伸びていき、理念のような堅苦しいものがなくともとくに困ることはありませんでした。私も社長業を過不足無くこなすことが出来ました。

会社には明確な指針が必要

しかしこれからは厳しい時代がやって来るというとき、働く人たちの今後への不安を少しでも、仕事への意欲と喜びを失わずに活躍してもらうには、どうすれば良いのか。考えて得た結論は、会社には明確な指針が必要だということでした。それが会社の理念です。

幸いなことに、そういう会社の理念を企業理念をつくる際の最適の指導者がいることも分かりました。私はそこでアドバイスを受けながら理念づくりに励み、完成できたのが2004年のことでした。(次号に続きます)

社長 中谷明生

社内報 情報管理室(in本社) 「ニュースレター」 31号より

バレーボールの宝物



先日、高校総体が行われ、小学校から続けてきた公式で行われる次女のバレー人生が終わりまりました。

小学校の時に、足のケガにより一度はあきらめかけたバレーではありましたが、その怪我也克服し、これまで続けてきました。ところが、総体を2ヶ月後に迎えた4月に練習中に、靭帯断裂、くるぶしの剥離骨折ということで、総体参加ということは絶望的になりました。

最初は落ち込んでいた娘も、みんなを最後まで応援すると決心して練習を見に行くようになりました。松葉杖を使わなくても歩けるようになった5月の下旬には、サーブを少し打ってはいたようですが、もちろんジャンプやダッシュはできません。試合当日、コートの手前で応援する姿を見ていました。

そつすると、試合の途中で、ベンチに呼ばれました。顧問の先生が、サーブを打たせてくれたのです。

一本目のサーブを打ちました。サーブを打った直後、娘の前にコート内の子が寄ってきました。サーブは打っても、カットはできない娘のことを思い、ボールが返って来たとしても、かわりにカットする為の行動だとわかりました。サーブが決まり得点につながりましたが、サーブが決まったことよりも、仲間を守られている姿、良い仲間にも恵まれた様子を見て感動しました。2本目を失敗して、娘のバレーは終わりました。

チームとしても残念ながら2回戦で敗退しましたが、試合がおわっても娘は笑顔でした。試合に出られなかった悔しさより、みんなでやりきった喜びが大きかったのだと思います。

バレーを通じて、娘が学んできた人との関りは、きっと宝物になったと思います。

(渡邊隆志)



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松
フリーダイヤル 0120-148-144